配信先: PR TIMES



ニュースリリース

令和7年8月29日 国立大学法人千葉大学

# 千葉大学「ケアテクマスター育成プログラム」始動

医療介護施設・開発販売企業においてケアテクノロジーの**開発と実装**を担う人材を育成!

千葉大学大学院看護学研究院附属専門職連携教育研究センター(IPERC)は、文部科学省「リカレント教育 エコシステム構築支援事業」に採択された「ケアテクノロジーの開発と実装を実現するケアテクマスター育成 プログラム」 を 10 月より開講します。

超高齢少子社会の課題解決に向け、医療介護施設・開発販売企業においてケアテクノロジーの**開発と実装を 担うことを目指す人材**を募集します。



## ■本プログラムの目的

#### ①ケアテクノロジー開発・実装による未来社会の実現

日本は世界でも類を見ない超高齢少子社会を迎えています。介護ロボットや ICT を含むケアテクノロジーは、利用者の自律・自立を支え、介護者の負担を軽減する有効な手段ですが、導入率は依然として低いのが現状です。

千葉大学では、IPERC においてケアテクノロジーの開発と実装を推進できる「ケアテクマスター」を育成し、その成果を**生産性の向上・ケアの質の向上・産業全体の成長**へとつなげていきます。

#### ②医療介護×企業人が共創する教育エコシステムの構築

本プログラムは、医療介護従事者と企業人が共に学び、**開発から実装までをつなぐエコシステム**を構築します。

基盤科目からワークショップまで体系的に学び、以下の力を育成します。

- 未来社会を描く力(最先端ケア知識と未来構想力)
- 開発と実装に必要な共通言語
- 対話・コンフリクト解決・専門職連携の実践力
- コ・デザインカ
- 実装戦略フレームワークの理解と活用力

これにより、現場に根ざしたケアテクノロジーの開発と社会実装を推進できる人材を育てます。

## ■プログラムの概要

開講時期	科目名	実施形式	定員
10月~11月	基礎科目1:ケアが目指す未来社会	オンデマンド	200名
11月~12月	基礎科目2:ケアテクのコ・デザインと実装戦略	オンデマンド・対面	100名※1
2026年1月	ワークショップ:ユーザーと企業人がともに	対面	30名※2
	考えるケアテクノロジーの開発・実装戦略		

- ※1 ただし基礎科目1を履修したものとする。
- ※2 ただし基礎科目 1、2 をすべて履修したものとする。

### ■今後の展望 — IPERC が支える未来社会のエコシステム

修了生は、医療介護現場や企業でリーダーとして、**持続的な実装と新技術開発**を担います。 IPERC は、リカレント教育を基盤とした**産官学のエコシステム**を広げ、**日本発のケアテクノロジー産業の成長と、誰もが自分らしく最期まで生きられる未来社会の実現**を目指します。

## ■参加申し込みについて

【応募資格】

- 1) 医療介護施設・企業からの派遣であり、かつ次のいずれかの資格を有する者:
  - (1) 医療施設:看護師長クラス以上
  - (2)介護施設:副施設長クラス以上
  - (3) ケアテクノロジー開発企業:主任クラス以上、開発経験を持つ熱意のある若手
  - (4) ケアテクノロジー販売企業: 主任クラス以上
- **2) その他:** スタートアップ企業、ケアテクノロジー関連の研究開発者、介護生産性向上総合相談センター (都道府県設置) 職員の方など(個人での応募可)

参加をご希望される方は、下記応募フォームもしくは QR コードよりお申込ください。

受付期間(各科目等共通):8月18日(月)~9月25日(木)

(定員を超える応募があった場合は、審査等で受講者を決定します。)

(す応募フォーム: https://app.gakken-meds.jp/cbu-re25/pre-register



プログラムに関する詳細は、下記よりご確認ください。

千葉大学大学院看護学研究院附属 専門職連携教育研究センター 「ケアテクマスター育成プログラム」 https://www.n.chiba-u.jp/iperc/seminar/form\_05.html

本件に関するお問い合わせ

千葉大学大学院看護学研究院附属専門職連携教育研究センター(IPERC)

E-mail: <u>nursing-caretech@chiba-u.jp</u> 担当者: 犬山 彩乃、姜 文熙、國武 由香里

責任者:諏訪さゆり